



第 2530 地区 福島西ロータリークラブ会報

会長 高 梨 哲 男
幹事 高 橋 智 弘

奉仕プロジェクト
委員会委員長 渡 辺 敬 藏

会報写真担当 梅 津 一 匡

令和 4 年 8 月 1 日(月) 第 4 回 通算第1632回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町 2-5 福島銀行本店内 9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

RI第2530地区 佐藤正道ガバナー 公式訪問例会

- ◇開会点鐘 高 梨 哲 男会長
- ◇国家斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 佐 藤 卓 立会員
- ◇お客様並びにビジター紹介
RI第2530地区 ガバナー 佐藤正道様(喜多方RC)
RI第2530地区 県北第一分区 ガバナー補佐 箭内一典様(福島中央RC)
RI第2530地区 地区副幹事 瀬野勝治様(喜多方RC)
RI第2530地区 県北第一分区 幹事 高橋正見様(福島中央RC)
RI第2530地区 県北第一分区 幹事 佐藤龍史様(福島中央RC)



8月誕生祝い

・佐藤慶行会員 昭和34年 8月12日生

◇会長あいさつ 高 梨 哲 男会長



本日は佐藤正道第2530地区ガバナーを迎え、改めて奉仕活動充実に注力し、我西RCの皆さんと一緒に成長し、行動することの気運に浸り、身の引き締まる思いであります。大袈裟でおこがましい価値観ですが、多様性、公平さ、インクルージョンを目標とし、改革により思考力をより深め、奉仕活動が問われ、進歩し、発展してこそ、情熱、行動、感動、共有という明文化された言葉となって、満足のある方向へ導くことが、課せられた使命であり、様々な現状に対する責務であります。他RCと協力関係を常に意識し、決して凌駕することなく、身の丈にあった奉仕を推進する覚悟です。この後ガバナーより、かなり辛辣な話が沢山あります。是非いつも通り静かにお聞きください。

◇幹事報告 高 橋 智 弘幹事

○例会変更のお知らせ
・次週、福島西RCの例会は7日(日)に変更し、6時より福島駅西口清掃、6時30分より早朝例会となりますのでよろしくお願い致します。

- その他のお知らせ
・8月7日(日)に予定されておりました「クラブ規定委員会セミナー」は延期となっております。
・8月ロータリーレートは1ドル136円となります。

委員会報告

- ◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 寺 島 英 樹委員長
- 佐藤正道ガバナー=1年間お世話になります。共に頑張りましょう。
- 瀬野勝治地区副幹事=本日はお世話になります。ありがとうございます。
- 箭内一典ガバナー補佐=佐藤正道ガバナー、本日はありがとうございました。
- 高梨哲男会長=ガバナーご苦労様です。また、お誕生日おめでとうございます！
- 高橋智弘幹事=佐藤正道ガバナー、本日はよろしくお願い致します。
- 渡辺敬藏会員=佐藤正道ガバナーはじめ、箭内ガバナー補佐、瀬野地区副幹事、高橋、佐藤分区幹事にはご指導ありがとうございます。
- 佐藤宗弘会員=佐藤正道ガバナーのご来訪を心から歓迎致します。1年間ご指導の程、よろしくお願い致します。
- 久米允彦会員=ガバナー、ご訪問ありがとうございます。
- 宮崎秀剛会員=本日もよろしくお願い致します。
- 寺島英樹会員=佐藤ガバナーようこそ！1年間体調に気をつけて頑張ってください。

ガバナースピーチによせて

- 高橋正見県北第一分区幹事 ○佐藤龍史県北第一分区幹事
- 野尻榮一会員 ○西形健吉会員 ○大平謹一郎会員
- 黒澤信之会員 ○佐藤卓立会員 ○佐藤慶行会員
- 梅津一匡会員 ○朝倉久仁男会員

本日のスマイリングBOX集計20件 52,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

- ◇会報・雑誌・広報・IT小委員会報告 梅 津 一 匡委員
- ◇「友」8月号紹介
- ◇本日のプログラム
- ガバナースピーチ 佐 藤 正 道ガバナー



「国際協議会RI会長エレクトテーマ講演」

- ◇参加を促す
会員の積極的な参加を促すために、ロータリーには「適応と改革」が必要。
積極的な参加こそが会員の維持にとって重要。

◇目的意識と熱意

参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出す。

◇クラブ環境

会員に奉仕できなければ、地域社会への奉仕もできない。会員にとって心地よい場所とし、会員への気配りがなければ、ロータリーの力を本当の意味で理解してもらうことはできない。

◇DEI

多様性、公平さ、インクルージョンを取り入れる努力において、インクルージョンのカギとなるのは、障壁を取り除くこと。インクルージョンこそが、会員増強のカギ。

◇女性会員

RI理事会が定めた女性の割合を30%にする目標の達成期日は2023年6月。110カ国以上で既に達成。30%は50%への足がかり。

◇新しいクラブ

新しいクラブモデルを受け入れることは、ロータリーの成長に不可欠。

革新的クラブまたは活動分野に基づくクラブを少なくとも二つ設立する。

◇つながり

ロータリーの存在感を増すことにも重点を置く。

地域社会とのつながりを生かして協力関係を深め、新たなパートナーシップを構築していく。

私たちに皆、夢があります。しかし、そのために行動するかどうかを決めるのは私たちです。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。

私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。

昨日のことをイマジン(想像)する人はいません。それは未来を描くことです。

2022-23年度RIテーマ

国際ロータリー2022-23年度年次目標



◇ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

○優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調する。
2. 2025年までに恒久基金を20億2,500万ドルとし、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やす。
3. 特にロータリーの七つの重点分野において、新たなパートナーシップを築き、同分野で成果を上げているクラブ、地区、国際プログラムおよびプロジェクトにスポットライトを当てる。

○優先事項2「参加者の基盤を広げる」目標

1. 影響力を持った人びと、目的に基づき行動する人びと、世界を変える行動人としてのロータリーの国際的な立場を向上させる。
2. 新しく革新的なクラブや参加を促す経路を新設し、発展させる。

○優先事項3「参加者の積極的なかわりを促す」目標

1. 個人的成長、リーダーシップ開発、奉仕、ネットワー

クづくりの機会を通じ、ロータリーの中核的価値観を支える会員の参加促進ツールを向上させる。

2. 特にロータリー、ローターアクト、インターアクトクラブのすべての参加者の連携を強める。

○優先事項4「適応力を高める」目標

1. バーチャルでのつながりの活用を支援・推奨し、対面式の会合、研修、ファンドレイジング、奉仕プロジェクトを最適化する。
2. ロータリーファミリーのすべてのリーダーシップレベルで多様性、公平さ、インクルージョンが実現できるように取り組みを強化する。
3. ロータリーの奉仕提供およびボランティアリーダーシップの構成を見直し、効果を高め、責務および説明責任の所在をより明確にする。

2022-23年度地区スローガン

情熱 行動 感動 共有

情熱(熱い思い)をもって行動し、感動(成果)を共有(共に分かち合う)しよう。

◇地区方針

国際ロータリー2022-23年度年次目標を達成するため、DEIを取り入れ、行動規範を遵守し、ロータリーの行動計画を実践します。やらされ感からやりがい感へ。会員とクラブが輝く地区づくり。クラブが自主性を持って活動できるよう、クラブが主役の地区運営を目指します。

クラブの御用聞きとなってクラブを支援していきます。

○地区重点目標

1. DEIを取り入れた会員増強拡大
DEIを取り込むことによってクラブ環境を整え、現状を分析し、クラブの望む姿を描き、会員の積極的な参加を促しましょう。
2. よりインパクトのある奉仕事業の実践
短絡的な奉仕活動でなく、持続可能な変化をもたらす事業を進めましょう。
地域のニーズを掘り起こし、調査を入念にし、その効果を予測し、成果を測定することによって、インパクトのある奉仕事業が行えます。
3. 活動の情報発信
たとえ素晴らしい活動を行っていても、他の人に伝わらなければ、共感や協力を得ることができません。多くの人に私たちの活動を広めましょう。
4. ネットワークの構築
ロータリーファミリーはもとより、私たちの想いに賛同し活動する人々と交流しましょう。
5. ポリオ根絶
野生株のポリオの発症例がなくなって6年を経過しないと、根絶したことにはなりません。その間毎年世界中の4億5千万人の子供たちにワクチンが投与されます。

◇分野別目標1

○会員増強拡大・DEI

- ・画一的ではなく、クラブがイメージする望ましい会員構成(地域社会を反映)を支援。
- ・会員規模に応じた対応
- ・SAKUJI作戦の実施
- ・DEIの理解を深めるとともに、革新的なクラブの設立
- ・新会員へのサポート

○公共イメージ・IT

- ・クラブ活動の情報発信
- ・情報発信のためのホームページ・SNS等の活用
- ・地区ホームページにてクラブの奉仕活動を集約し発信
- ・クラブセントラルの inputs を支援し、クラブがイメージする目標の設定をサポート
- ・オンライン会議のサポート

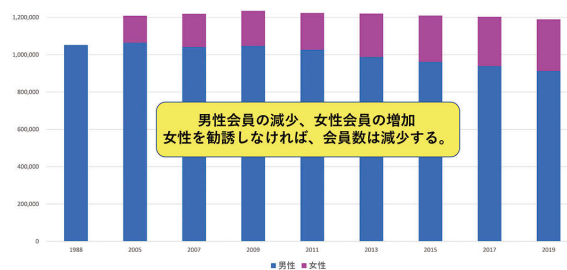
- 職業奉仕
 - ・しあわせの島(くに)ふくしま職業奉仕宣言の活用。
 - ・DEIを取り入れウィズコロナに対応した、新しい時代の職業奉仕のあり方
- 社会奉仕
 - ・クラブの奉仕活動の情報を収集する。
 - ・よりインパクトのある奉仕活動立案のための研修及び支援
 - ・クラブの奉仕活動をサポート
- ◇分野別目標2
- 国際奉仕
 - ・3350地区(タイ・ミャンマー・カンボジア・ラオス・ベトナム)との情報共有
 - ・国際奉仕支援地域の情報収集及び提供
 - ・オンツメルボルンのサポート
- 青少年奉仕
 - ・インターアクト
 - ・インターアクトクラブ活動の支援及び指導
 - ・ロータリークラブ、ローターアクトクラブとの連携
 - ・ロータリー賞挑戦のサポート
 - ・RYLA
 - ・地区RYLAの再検討と実施
 - ・第16回全国RYLA研究会に向けての準備
 - ・青少年交換
 - ・長期交換事業の実施及び短期交換事業の検討
- ローターアクト
 - ・ローターアクターへロータリーについての研修
 - ・基盤強化のための活動及び活動資金調達のための計画立案地区委員会を活用し、奉仕活動の実践
 - ・スポンサークラブとのグローバル補助金事業
 - ・ロータリークラブ、インターアクトクラブとの連携
 - ・ロータリー賞挑戦のサポート
- 学友
 - ・IAC, RYLA, ROTEX, RAC, 財団、米山学友の情報収集及びネットワーク構築学友の卓話者リスト作成
- ロータリー財団
 - ・ポリオについての理解を深める
 - ・DDFの20%をポリオプラス基金へ
 - ・クラブ事業へポリオプラス基金を関係づけし寄付を募る
 - ・地区補助金の活用についての指導及び支援
 - ・ファンドレイジング目標

年次基金	\$ 150/人
ポリオプラス基金	\$ 30/人
ベネファクター	各クラブ1名
- 米山記念奨学会
 - ・奨学生の積極的な受入れと親交3350地区との連携
 - ・寄付目標

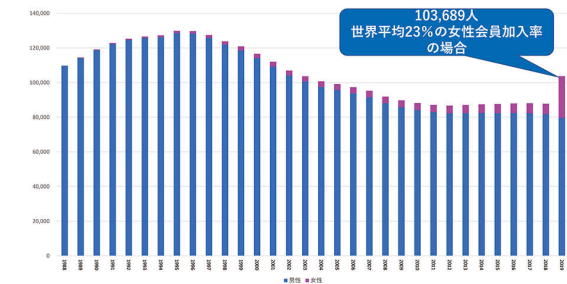
普通寄付	5,000円/人
特別寄付	10,000円/人
- ◇分野別目標4
- RLI
 - ・RLI研修への積極的な参加を促す
 - ・ディスカッションリーダーの育成及びスキルアップ
 - ・地区セミナーの支援
- 研修
 - ・地区委員会の指導及び支援
 - ・セミナーにディスカッションを取り入れる
 - ・CLPの支援
- 戦略計画
 - ・地区戦略計画の策定
 - ・クラブ戦略計画の支援
- 地区・クラブ規定
 - ・地区運営規定の見直し
 - ・クラブ定款・細則の見直し支援

- ロータリーなんでも相談室
 - ・ロータリーよろず相談所
 - ・各委員会より相談委員を選出、会員やクラブからの問い合わせに対応
 - ・相談案件のデータベース作成
- ◇地区チーム運営方針
 - ・ガバナー補佐の積極的な関与(クラブのサポート)
 - ・DEIの取り組み(各チームがDEIに基づき活動する)
 - ・ロータリーの行動規範を遵守する。
 - ・地区は、クラブの御用聞き姿勢で臨む。
 - ・委員会を開催する。
 - ・進捗状況を把握する。
 - ・より多くのメンバーが参加できるよう配慮する。
 - ・開催日程をガバナー事務所又は地区事務所へ報告する。
 - ・委員会欠席者へのケアをする。
 - ・担当委員会の内容を地区研修・協議会までに熟知しておく。
 - ・セミナー開催時には、必ずグループ分けによるディスカッションを取り入れる。
 - ・地区委員は極力RLIを受講する。

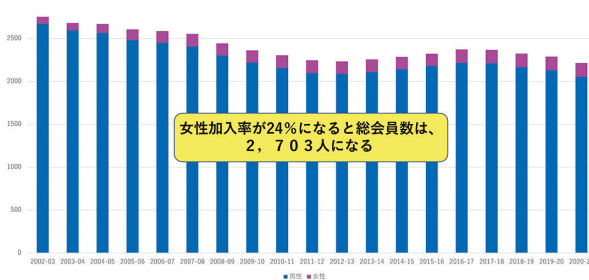
▼会員数の推移(世界)



▼会員数の推移(日本)



▼会員数の推移(2530地区)



▼ライオンズクラブとの比較(全国)

